

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社 エフテック
 コード番号 7212 URL <http://www.ftech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 嗣夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 梅津 啓二
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 0480-85-5211

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	40,956	—	2,406	—	2,187	—	1,116	—
20年3月期第1四半期	40,682	18.6	1,989	20.4	1,842	30.1	1,052	53.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	90.35	82.70
20年3月期第1四半期	85.17	77.80

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第1四半期	98,072	—	27,986	—	17.9	1,424.27
20年3月期	94,850	—	27,399	—	18.7	1,438.01

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 17,598百万円 20年3月期 17,768百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	34.00	34.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	15.00	—	19.00	34.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	79,000	△0.9	3,200	△21.3	2,800	△25.9	1,100	41.4	89.03
通期	161,000	1.0	7,800	△10.2	7,000	△5.7	3,500	△15.7	283.26

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 12,390,000株 20年3月期 12,390,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 34,051株 20年3月期 34,051株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 12,355,949株 20年3月期第1四半期 12,357,790株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、売上高40,956百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益2,406百万円（前年同期比20.9%増）、経常利益2,187百万円（前年同期比18.7%増）、四半期純利益1,116百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

所在地別セグメントの状況は下記の通りであります。

国内は、昨年、子会社化した株式会社リテラ等の売上が加わり売上高17,658百万円、営業利益は金型、設備の売上減少により97百万円となりました。

北米・アジアは、本田技研工業株式会社への販売が好調に推移したことにより、北米は売上高20,572百万円、営業利益1,741百万円となり、アジアは売上高5,436百万円、営業利益はエフテック・マニユファクチャリング（タイランド）リミテッドの創業費等により596百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況

当第1四半期における財政状態は、前連結会計年度末と比べ、総資産は3,222百万円増加し98,072百万円となりました。

純資産は587百万円増加し27,986百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の18.7%から17.9%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より514百万円増加し、4,558百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

これは主に税金等調整前四半期純利益が2,084百万円、減価償却費が2,048百万円、たな卸資産の減少で193百万円資金が増加し、仕入債務の減少により1,545百万円、法人税等の支払で566百万円資金が減少した結果、営業活動で得られた資金は2,659百万円となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

これは主に有形固定資産を5,354百万円取得した結果、投資活動により使用した資金は5,432百万円となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

これは主に借入金の調達により3,879百万円資金が増加しましたが、配当金を699百万円支払した結果、財務活動で得られた資金は3,178百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結決算の業績につきましては概ね予想通りに推移しており、平成20年4月25日に公表しました業績予想は第2四半期連結累計期間、通期ともに変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・ たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、たな卸資産評価損として特別損失に73百万円計上し、税金等調整前四半期純利益は同額減少しております。

③ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間から、これらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、平成20年3月31日以前に取引を開始した所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(4) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

① 当社グループのエフアンドピー・マニュファクチャリング・インコーポレーテッドは、平成12年3月期から平成13年3月期の2会計期間における当社との取引に関しカナダ税務当局による移転価格税制に関わる調査を受けておりますが、調査の最終的な結果を得ておらず、前連結会計年度においては、カナダ会計基準に基づき、その調査により生ずるかも知れない影響額を合理的に見積もることは困難であり、当該事象による影響は前連結財務諸表には反映していませんでしたが、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準に基づき、不確実性があるものの最善の見積り額を期首剰余金修正(利益剰余金の減少)と流動負債 その他にそれぞれ465百万円計上しております。

② 当社グループの偉福科技工業(中山)有限公司は、当第1四半期連結会計期間より、中国会計基準から国際財務報告基準に変更し期首剰余金修正(利益剰余金の増加)と繰延税金資産(投資その他の資産 その他)にそれぞれ56百万円計上しております。

③ 当社グループの偉福科技工業(武漢)有限公司は、当第1四半期連結会計期間より、中国会計基準から国際財務報告基準に変更し期首剰余金修正(利益剰余金の増加)と繰延税金資産(投資その他の資産 その他)にそれぞれ36百万円計上しております。

④ 当社グループのエフテック・マニュファクチャリング(タイランド)リミテッドは、当第1四半期連結会計期間より、タイ会計基準から国際財務報告基準に変更し期首剰余金修正(利益剰余金の減少)と退職給付引当金にそれぞれ3百万円計上しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,567	4,082
受取手形及び売掛金	17,182	16,863
商品	2,511	2,042
製品	1,176	1,111
原材料	3,818	4,396
仕掛品	2,850	2,974
貯蔵品	1,405	1,267
その他	3,196	3,197
流動資産合計	36,708	35,935
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,397	17,261
機械装置及び運搬具	22,732	21,833
その他	15,727	14,396
有形固定資産合計	55,857	53,491
無形固定資産	573	560
投資その他の資産		
投資有価証券	2,247	2,047
その他	2,774	2,902
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	4,933	4,861
固定資産合計	61,364	58,914
資産合計	98,072	94,850

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係 る要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,026	16,335
短期借入金	17,493	15,562
1年以内返済予定長期借入金	4,868	4,871
未払法人税等	162	210
役員賞与引当金	23	134
その他	8,557	8,552
流動負債合計	46,131	45,666
固定負債		
社債	8,693	8,695
長期借入金	12,909	10,805
退職給付引当金	1,295	1,289
役員退職慰労引当金	204	209
負ののれん	28	28
その他	822	755
固定負債合計	23,953	21,783
負債合計	70,085	67,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,677	2,677
資本剰余金	3,115	3,115
利益剰余金	12,876	12,557
自己株式	△20	△20
株主資本合計	18,648	18,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	395	293
為替換算調整勘定	△1,446	△854
評価・換算差額等合計	△1,050	△561
少数株主持分	10,388	9,631
純資産合計	27,986	27,399
負債純資産合計	98,072	94,850

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	40,956
売上原価	35,440
売上総利益	5,516
販売費及び一般管理費	3,109
営業利益	2,406
営業外収益	
受取利息	12
受取配当金	28
持分法による投資利益	56
その他	86
営業外収益計	184
営業外費用	
支払利息	302
その他	100
営業外費用計	403
経常利益	2,187
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益計	0
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	30
たな卸資産評価損	73
特別損失計	103
税金等調整前四半期純利益	2,084
法人税等	607
少数株主利益	361
四半期純利益	1,116

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,084
減価償却費	2,048
売上債権の増減額	△190
たな卸資産の増減額	193
仕入債務の増減額	△1,545
その他	823
小計	3,414
法人税等の支払額	△566
その他	△187
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,354
その他	△78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,432
財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入金及び社債の増減額	3,879
配当金の支払額	△699
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,178
現金及び現金同等物に係る換算差額	109
現金及び現金同等物の増減額	514
現金及び現金同等物の期首残高	4,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,558

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当連結グループはシャーシ部品等の自動車機能部品の製造販売を主事業としている専門メーカーであり、「自動車部品関連事業」の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	国内 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	15,540	20,397	5,018	40,956	—	40,956
(2) セグメント間の内部売上高	2,117	174	417	2,710	(2,710)	—
計	17,658	20,572	5,436	43,666	(2,710)	40,956
営業利益	97	1,741	596	2,436	(29)	2,406

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米……米国、カナダ、メキシコ
- (2) アジア……フィリピン、中国、タイ

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北米	欧州	アジア	計
I 海外売上高 (百万円)	20,391	194	5,419	26,004
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	40,956
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	49.8	0.5	13.2	63.5

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米……米国、カナダ、メキシコ
- (2) 欧州……英国
- (3) アジア……フィリピン、中国、インド

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期にかかる財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～6月30日)

(単位: 百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	40,682
II 売上原価	35,787
売上総利益	4,894
III 販売費及び一般管理費	2,904
営業利益	1,989
IV 営業外収益	117
V 営業外費用	264
経常利益	1,842
VI 特別利益	0
VII 特別損失	1
税金等調整前四半期 純利益	1,841
法人税等	533
少数株主利益(減算)	255
四半期純利益	1,052

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～6月30日)

(単位: 百万円)

	前四半期 (平成20年3 月期 第1四半期)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,841
減価償却費	1,651
売上債権の増減額	1,558
たな卸資産の増減額	△401
仕入債務の増減額	△1,343
その他	△44
小計	3,262
法人税等の支払額	△1,409
その他	△178
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,673
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,060
その他	△66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,126
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入金及び社債の増減額	2,377
少数株主からの払込による収入	50
配当金の支払額	△523
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,904
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	96
V 現金及び現金同等物の減少額	△451
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,760
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,308

(3) セグメント情報

所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

(単位: 百万円)

	国内 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	14,705	21,744	4,232	40,682	—	40,682
(2)セグメント間の内部売上高	2,538	238	500	3,278	(3,278)	—
計	17,243	21,983	4,732	43,960	(3,278)	40,682
営業費用	16,488	20,924	3,945	41,358	(2,666)	38,692
営業利益	755	1,058	787	2,601	(611)	1,989

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……米国、カナダ、メキシコ

(2) アジア……フィリピン、中国、タイ